

平成24年度 小浜西組町並み協議会総会報告

平成24年度 小浜西組町並み協議会総会が、5月24日（木）7時30分から、福祉センター2階で開催されました。

澤口会長の挨拶の後、松崎小浜市長の挨拶、市からの報告とお願いがありました。その後出席者数の確認をおこない、議長選出の後、議事に入りました。議題は次の通りです。

- 【1号議案】小浜西組町並み協議会規約改正（案）承認の件
- 【2号議案】小浜西組町並み協議会役員（案）承認の件
- 【3号議案】平成23年度 事業報告書（案）の承認
- 【4号議案】平成23年度 収支決算書（案）承認の件および監査報告
- 【5号議案】平成24年度 事業計画書（案）承認の件
- 【6号議案】平成24年度 収支予算書（案）承認の件
- 【7号議案】その他

■市長挨拶

本日、小浜西組町並み協議会の総会が開催されるにあたりまして、日頃の協議会の活動に感謝の意を込めて、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年は、日本国民の皆様方が東日本大震災で心を痛めておりましたが、1年が経過し、まだまだではございますが、わずかながらも復興が進み始め、全国各地で賑わいが取り戻されつつあります。

今年は気象変化もあり、桜の開花が例年よりも遅れ、4月中旬に見頃を迎えましたが、満開の時期には、桜並木がある小浜公園をはじめ、小浜西組地区にも回遊する方々で賑わいを見せておりました。

長年の懸案事項でございました小浜東部地区海浜の駐車場も4月1日から供用を開始したことにより、海岸を散歩しながら小浜西組地区の町並みも散策いただけるコースも増え、地区の魅力をより発信できる体制になってきております。

さて、現在、福井県では、若狭舞鶴自動車道の整備とともに、その周辺にある魅力ある地域をさらに磨いていこうと進めております。小浜西組地区も、県が目指す魅力ある地域の1つに掲げ、まちづくりや周辺整備の支援を今年度から予算化し、積極的に実施していこうと考えております。

このような積極的な支援への取り組みが立ち上げられる背景には、小浜西組地区の町並みが魅力的なものであることは勿論のこと、協議会の皆様方による地区のまちづくりに対する日頃の活

動が評価されたところが大きいと、市では考えております。

平成21年に協議会の皆様方が地区のまちづくりの基本計画となる「小浜西組マスタープラン」を策定されてから早三年、今年度からはマスタープランで長期計画に位置付けられた事業の実施に向け、さらなる協議会の積極的な活動が期待される次第でございます。

今後におかれましても、協議会の皆様方には、地域の方々の意見集約に努めていただき、重伝



建を活かしたまちづくりに対する気運がなお一層盛り上がるよう、会長の澤口様を中心に取り組んでいただければと祈願しております。

最後になりましたが、本日出席いただいております協議会の委員の皆様方の、今後益々のご健勝をお祈り申し上げます。祝辞といたします。

■市からの報告とお願い

*各区の説明会の実施について（岩田課長）

今年度も引き続き、市では、地区住民の方対象の説明会の実施を予定している。

日程や会場等の調整もあるため、5月2日（水）に8区長ならびに協議会の三役の皆様にご依頼させていただいた。説明会の開催にあたり、皆様の出席をお願いしたい。

*平成24・25年度重伝建補助事業について（野瀬主査）

今年度は12件の補助事業を予定している。福井県の交付決定が国の予選決定の遅れに伴い、工事着工は5月の終わりが6月のはじめの予定である。

また、3月30日に締め切った平成25年度重伝建補助事業には6件の申請があった。地区では、香取区2件、鹿島区2件、浅間区1件、住吉区1件である。平成25年度重伝建補助事業については、7月はじめに審議会等で協議し、予算化に向けて調整していく予定である。

*平成24年度の景観形成助成事業について（野瀬主査）

昨年10月に景観形成助成事業利用のとりまとめを実施したところ、3件の利用希望があり、今年度予算化している。1件は建物の外壁修理工事、残り2件は親子式住宅用火災報知器設置の配線工事への助成である。

*（仮称）全国女性落語大会について（松澤主事）

昨年度まで、福井県で実施していた全国女性落語大会が、今年度から小浜市と実行委員会の主催で実施することになる。4月19日に実行委員会の中心となる「ちりとて落語の会」の方が集まり、会場や実施内容に関する方針を協議したところ、小浜市の歴史や文化に触れあってほしいとの思いから小浜西組地区で実施したいとの話であった。

日程は、9月22日（土）・23日（日）を考えている。放生祭の足洗いの時期とも重なってくることから、地区の方には落語を聞いて楽しんでいただきたい。

今後、会場提供の協力や開催にあたっての助言等を個々あるいは協議会の方に依頼させていただくかもしれない。



平成23年度事業報告書（案）

事業種目	事業内容	実施状況
町並み保存資料館管理事業	市より事業を受託し、町並み保存の中核として活用し、年に数回企画展を開催した。	通年
町並み散策案内所の運営	飛鳥区に開設し、重伝建地区の案内所として活用した。	通年
協議会の総会・役員会・各部会などの開催	総会、役員会、各委員会を開催した。	通年
一門一灯運動の推進	本年は普及活動に尽力し、地域内の皆さんにご協力いただいて門口に置いていただいた。	通年
地域活性化事業	庚申堂境内で朝市を開催した。	通年
環境整備事業	協議会が設置した案内板等の補修等を随時行った。	通年
ホームページ維持管理事業	西組の町並みを重伝建地区としてインターネットを通じて情報発信を行った。	通年
町並み月報発行事業	町並みを活かしたまちづくりの動向をまとめた月報を毎月発行した。	通年
後瀬山歴史街道絵図の活用	西組重伝建地区を知ってもらうため観光客を中心に販売した。	通年
町並み基金の維持管理	町づくり支援金を募集し、活用した。	通年
視察団体への対応	視察の申し込みに役員で案内、説明をした。	通年
文化庁調査官との懇親会	秋に熊川宿で開催し、有意義な話し合いを行った。	秋
各区説明会への参画	市当局主催の各区説明会に参加し、協議会の活動について理解を求めた。	夏、秋
アーティスト イン レジデンス	昨年度に引き続き、外国人アーティスト3名を招聘し、西組に住んでいただき、創作活動に資した。	夏
先進地視察	奈良県橿原市今井町へ訪問し、先進地の視察を行った。	秋
よろず相談所（空き家対策）の維持管理	空家データベースをもとに要望があった空家二軒の売却に携わった。	冬
住宅用火災警報機設置の促進	自主防災組織、消防とともに設置を促進した。	通年
ふるさと福井景観づくり懇談会への参画	福井ふるさと百景の選定と保全活用への積極的な取り組みにむけての意見交換会へ参加した。	夏、春
街路整備要望の継続、推進	市当局に対して引き続き街路整備の要望を継続している。	通年
町づくりアンケートの実施	西組住民の意識調査として町並みアンケートを行い、分析し、協議会の運営に資するとともに、結果を住民に知らしめた。	秋
町づくりワークショップの開催	特に若手の住民対象に、危機意識の醸成を計り、問題解決の糸口を見つける目的で活発な議論を行った。	冬
防災機器の整備、充実	宝くじ財団の基金を生かして、AEDはじめ防災機器の整備、充実を図った。	秋
市制60周年記念市長表彰の授与	市制60周年を迎える節目として市長表彰を授与し、金一封を授かった。	秋
自主防災組織の維持管理	各区防災組織と連携して活動し、文化財防衛訓練を行った。	通年

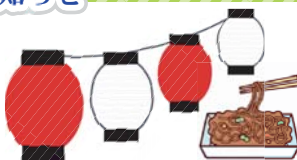
Information お知らせ

常高寺
花菖蒲展開催中！

期間：6/14(木)～30(土)



今年も立派に咲きそろいました。ぜひご覧下さい。



庚申堂大祭

with 小浜西組町並み協議会

7月29日(日) 三丁町の庚申堂にて

イベント例

WAC 小浜・西組企画／面白ゲーム・駄菓子屋・焼きそば・カキ氷
青年会議所企画／「浴衣でぶらり」(浴衣で来た人にサービス一品等)
若狭の語り部企画／西組歴史探究ツアー



ご家族そろってお越し下さい
手伝って下さる方大募集!!

問合せ先：活性化委員会 佐野
(090-8969-4232)

庚申堂再建40周年を記念して

小浜飛鳥にある庚申堂は昭和47年に再建され、今年には40年の節目の年であり、何か記念になることをしようと、世話人の女性の方々は「身代わり猿」（赤いぬいぐるみの猿）作りに一生懸命です。大原区の川端きぬゑさん（86歳）に、作り方を教えていただき、300個を目標に、現在たいへんな作業に取り組んでおられます。5種類のおさるさんが違う“おさるさん”を作り、紐で連ねたものを、各家の軒先に吊るしてもらおうというものです。



手縫いで「身代わり猿」を作る世話人の皆さん

おさるさんを作りながら世話人の女性の方々は、「40周年の記念の年に世話人に当たり、こういう取り組みに参加できることは、ありがたいことです」とか「雰囲気盛り上げる目的もあるけれど、お祭りの後も（身代わり猿）を吊るしてもらって、観光で訪れた人々に、この辺りに庚申堂があるのでは？と気づいていただいて、お参りをしてもらおうという風になればいいな」等、話されていました。又、以前に世話人をされたことがある近所の男性が、この作業をしているところへ訪ねて来られ、「40年目の記念の年にこのようなことをしてもらって、とても嬉しいね。」と言っておられました。



軒先に吊るされた猿（部分） はいかがでしょうか。

今年は7月29日（日）が庚申堂のお祭りの日です。各家の軒に吊るされた5連の「身代わり猿」が厄を祓ってくれて、お祭りの雰囲気を盛り上げてくれます。庚申堂ではコンニャクも販売されます。みなさんも当日は庚申さんにお参りをし、コンニャクを食して、供養されて

庚申堂について

香取区と飛鳥区でお守りをしている庚申堂の起源は、慶安2年（西暦1649年）に、小浜藩主酒井忠勝公の族臣 都筑秀政つづきひでまさの内室（忠勝公の娘）が祈願し、今まで守り神として信仰していた青面金剛像（庚申像）しょうめんこんごうを寄進されるとともに、お堂を建立されたものです。

日本全国に庚申信仰は残されていますが、元は中国の道教に由来したもので、それが日本に定着したのだそうです。

庚申信仰では、人間の体内には『三尸（さんし）の虫』というのが宿っていて、この『三尸（さんし）の虫』は「コンニャク」と「猿」が大嫌いだそうで、悪病や災難を遠ざけるためコンニャクを食べたり、おまじないとして、家の軒先に「身代わり猿」を吊るしたりという風習が生まれました。